

V 日高振興局

1. みなべ町農業士会青年農業士が現地研修を実施

3月2日、みなべ町農業士会（会長：中井昭）は、有田川町、有田市において青年農業士の現地研修会を実施し、会員9名が参加した。

最初に、有田川町の「ゆら早生」栽培園（園主：稲住昌広氏）において研修を行った。園地改造して傾斜を緩和し、SS（スピードスプレヤー）で防除できるよう植栽した極早生みかん「ゆら早生」園を見学し、園地改造に至った経緯、省力効果、果実品質への影響、収穫等にかかる労働力の現状等について説明を受け、かんきつの大規模経営における農作業の効率化、省力化に対する考え方について研修した。

次に、有田市宮原町東の株式会社早和果樹園（代表取締役：秋竹俊伸氏）において、現地研修を行った。生産部門の責任者で取締役専務の松本将輝氏から、会社の概要と会社で生産している温州みかんをはじめとするかんきつ類の生産状況、それに携わる社員への研修や就労状況、管理作業の効率化への取り組み等について説明を受け、研鑽を深めた。

今回の研修は、梅以外の果樹の省力化や労働力の最適化などを学ぶため実施したが、梅栽培と同じように労働力の確保に苦労されている点や園地改造・機械の導入等で工夫されている点など、参考になることが多い有意義な研修となった。



ゆら早生栽培園見学



早和果樹園での研修

2. 由良町農業士会が県内研修を実施

3月23日、由良町農業士会（会長 杉谷哲哉）が古座川町にて県内研修を実施し、会員10名が参加した。

始めに、南紀月の瀬温泉ぼたん荘にて、古座川町産業建設課の細井孝哲主査から、「厄介者を地域の宝に！」と題し、古座川町における鳥獣害の現状や対策、ジビエとして活用するようになった経緯などの説明を受けた。

また、同じ敷地内にある「古座川町鳥獣食肉処理加工施設（古座川ジビエ山の光工房）」を見学した。この加工施設は、猟友会からの要望と、観光客へ名物料理を提供ができないか

との思いがきっかけでできた施設であり、搬入口から冷凍保管室まで、衛生管理・品質面において徹底した設計となっている。

研修を終えた会員は、「どこも同じ課題を抱えているのがわかった」、「ジビエとして活用できるのはいいことだ」等の感想が聞かれ、これからも課題解決に向けて頑張ろうと士気が上がった研修となった。



ぼたん荘での研修



施設の見学

3. 由良町生活研究グループが子どもクッキング教室を開催！

3月27日、由良町中央公民館にて、由良町生活研究グループ（後藤明子会長）が子どもクッキング教室を開催し、町内小学校3～6年生9名が参加した。

内容はハンバーガーづくりで、子供たちは会員に教わりながらパテを作ったり、野菜を切ったりし、パンで挟んで皆で試食した。子どもたちからは、「自分でハンバーガーを作ったのは初めてで楽しかった」などの感想が得られ、会員も「子どもに料理や食事の楽しさを知ってもらい最初のきっかけになれば嬉しい」、「今度は地元のを沢山使った料理を教えたい」と述べており、充実した食育教室になった。



クッキング教室